

### 3 介助・援助の状況について

#### (1) 主な介助・援助者

身体障害者では、32.4%が「特に介助・援助は受けていない」状況だが、主な介助・援助者としては、「配偶者(夫、妻)」が 31.6%と最も多く、次いで「息子、娘(息子、娘の配偶者も含む)」が 17.2%で続いている。

知的障害者では、主な介助・援助者としては、「父、母」が 74.6%と最も多い。

精神障害者では、22.8%が「特に介助・援助は受けていない」状況だが、主な介助・援助者としては、「父、母」が 31.5%と最も多く、次いで「配偶者(夫、妻)」が 16.7%である。

		特に介助・援助は受けていない	配偶者(夫、妻)	父、母	息子、娘	祖母、祖父	兄弟、姉妹
身体障害者	(n=2,064)	32.4%	31.6%	8.8%	17.2%	0.3%	3.6%
知的障害者	(n=350)	8.9%	0.3%	74.6%	—	5.1%	21.4%
精神障害者	(n=311)	22.8%	16.7%	31.5%	5.1%	0.3%	10.9%

		行政の職員	病院の職員 (看護師等)	施設の職員	ホームヘルパー	その他	無回答
身体障害者	(n=2,064)	1.8%	4.0%	5.9%	13.1%	2.8%	7.4%
知的障害者	(n=350)	2.9%	1.7%	18.9%	12.3%	5.7%	4.6%
精神障害者	(n=311)	8.7%	12.2%	5.8%	9.0%	8.0%	7.7%

#### \* 主な介助者・援助者のうち、最も長く介助・援助している人

主な介助・援助者のうち、最も長く介助・援助している人は、身体障害者では、「配偶者(夫、妻)」が 48.7%と最も多く、次いで「息子、娘(息子、娘の配偶者も含む)」が 15.4%である。

知的障害者では、「父、母」が 82.2%と最も多く、次いで「施設の職員」(7.6%)である。

精神障害者では、「父、母」が 40.7%と最も多く、次いで「配偶者(夫、妻)」(21.8%)である。

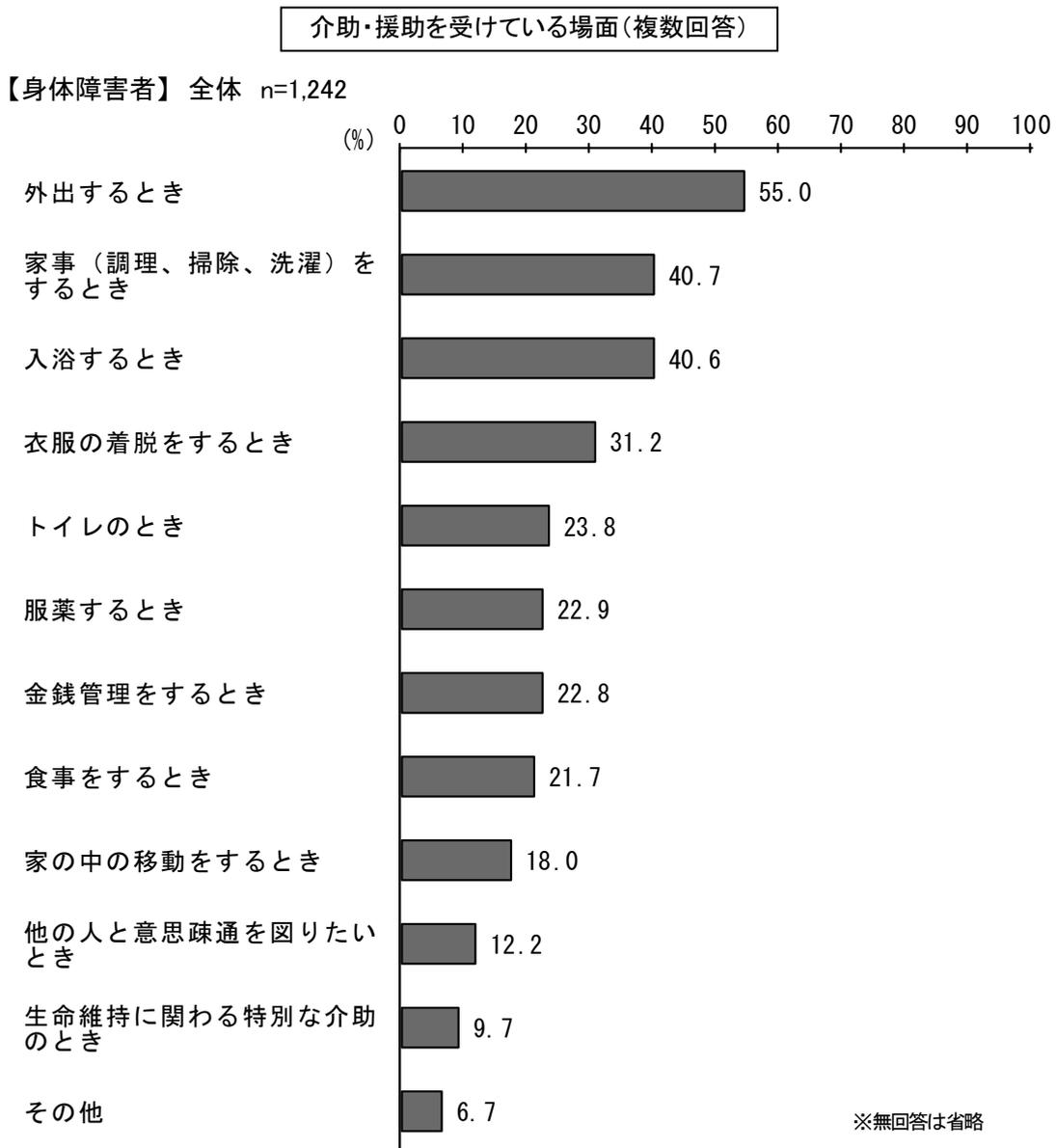
		配偶者(夫、妻)	父、母	息子、娘	兄弟、姉妹	祖母、祖父	行政の職員
身体障害者	(n=1,242)	48.7%	13.0%	15.4%	0.2%	3.1%	0.5%
知的障害者	(n=303)	—	82.2%	—	0.3%	5.0%	0.3%
精神障害者	(n=216)	21.8%	40.7%	2.3%	—	7.4%	3.2%

		病院の職員 (看護師等)	施設の職員	ホームヘルパー	その他	無回答
身体障害者	(n=1,242)	3.5%	3.3%	8.5%	2.3%	1.8%
知的障害者	(n=303)	0.7%	7.6%	1.0%	2.0%	1.0%
精神障害者	(n=216)	9.3%	0.9%	8.3%	4.2%	1.9%

## (2) 介助・援助を受けている場面（複数回答）

具体的に介助・援助を受けている場面としては、身体障害者では「外出するとき」、知的障害者では「お金の管理をするとき」、精神障害者では「食事のしたく」が最も多くなっている。

身体障害者では、「外出をするとき」が 55.0%と最も多く、次いで「家事（調理、掃除、洗濯）をするとき」（40.7%）、「入浴をするとき」（40.6%）と続いている。



具体的に介助・援助を受けている場面について、障害の程度別にみると、重度(1級・2級)では、「外出するとき」で60.7%と多くなっている。

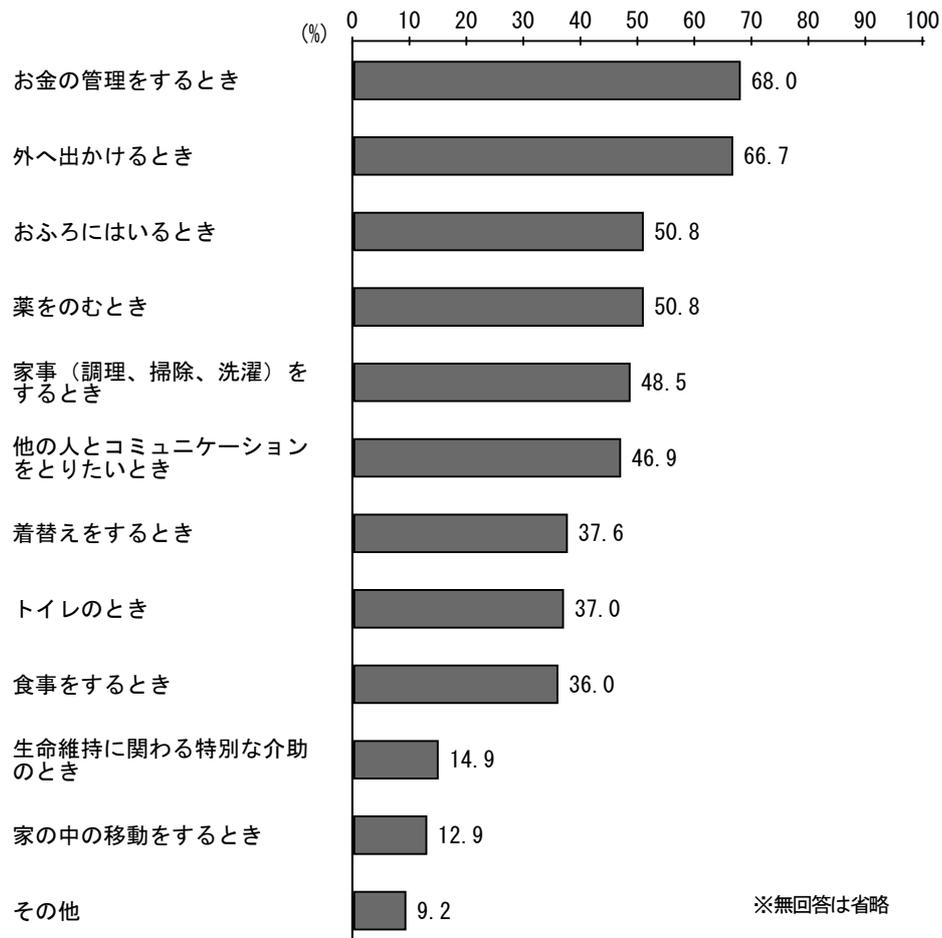
*問6 障害の程度		n	7	6	3	4	2	8	11	1	5	10	9	12
			外出するとき	家事(調理、掃除、洗濯)をするとき	入浴するとき	衣服の着脱をするとき	トイレのとき	服薬するとき	金銭管理をするとき	食事をするとき	家の中の移動をするとき	他の人と意思疎通を図りたいとき	生命維持に関わる特別な介助のとき	その他
0	全体	1,242	55.0	40.7	40.6	31.2	23.8	22.9	22.8	21.7	18.0	12.2	9.7	6.7
1	重度(1・2級)	781	60.7	41.2	48.3	38.4	30.1	27.9	26.4	27.8	22.5	14.2	11.8	7.2
2	中度(3・4級)	365	46.0	40.8	24.4	17.5	11.2	11.2	16.2	10.1	8.8	7.9	5.5	6.3
3	軽度(5・6級)	72	34.7	30.6	34.7	22.2	18.1	25.0	15.3	12.5	12.5	13.9	2.8	1.4

知的障害者では、「お金の管理をするとき」が 68.0%と最も多く、次いで「外へ出かけるとき」(66.7%)、「お風呂にはいるとき」「薬をのむとき」(ともに 50.8%)と続いている。

障害の程度別にみると、最重度・重度(1・2度)で「外へ出かけるとき」、「お風呂にはいるとき」が多く、8割以上である。

介助・援助を受けている場面(複数回答)

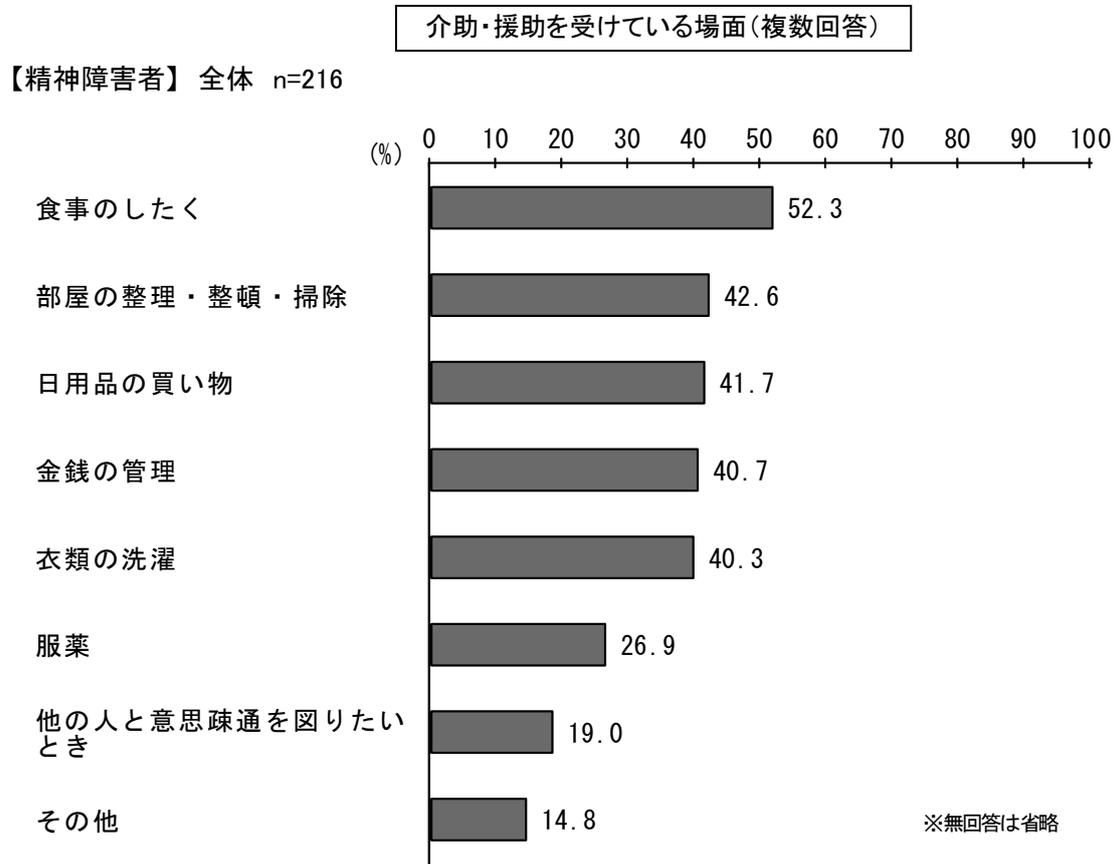
【知的障害者】全体 n=303



*問6 障害の程度	n	11	7	3	8	6	10	4	2	1	9	5	12
		お金の管理をするとき	外へ出かけるとき	お風呂にはいるとき	薬をのむとき	家事調理、掃除、洗濯)をするとき	他の人とコミュニケーションをとりたいたとき	着替えをするとき	トイレのとき	食事をするとき	生命維持に関わる特別な介助のとき	家の中の移動をするとき	その他
0 全体	303	68.0	66.7	50.8	50.8	48.5	46.9	37.6	37.0	36.0	14.9	12.9	9.2
1 最重度・重度(1・2度)	128	64.8	86.7	81.3	73.4	46.9	63.3	60.9	62.5	56.3	23.4	21.1	10.9
2 中度(3度)	71	87.3	64.8	33.8	33.8	54.9	42.3	21.1	21.1	19.7	12.7	5.6	2.8
3 軽度(4度)	97	58.8	42.3	23.7	33.0	45.4	29.9	18.6	14.4	20.6	6.2	6.2	12.4

精神障害者では、「食事のしたく」が 52.3%と最も多く、次いで「部屋の整理・整頓・掃除」(42.6%)、「日用品の買い物」(41.7%)と続いている。

障害の程度別にみると、1 級では「食事のしたく」、「日用品の買い物」、「衣類の洗濯」がいずれも半数以上である。



		4	1	3	7	2	5	6	8	
		食事のしたく	部屋の整理・整頓・掃除	日用品の買い物	金銭の管理	衣類の洗濯	服薬	他の人と意思疎通を図りたいとき	その他	
* 問6	障害の程度	n								
0	全体	216	52.3	42.6	41.7	40.7	40.3	26.9	19.0	14.8
1	1級	29	65.5	48.3	55.2	48.3	55.2	44.8	37.9	27.6
2	2級	120	50.0	39.2	40.0	40.8	35.0	20.0	16.7	8.3
3	3級	60	50.0	45.0	38.3	38.3	40.0	28.3	13.3	20.0

### (3) 介助・援助者が不在のときに希望する対応（複数回答）

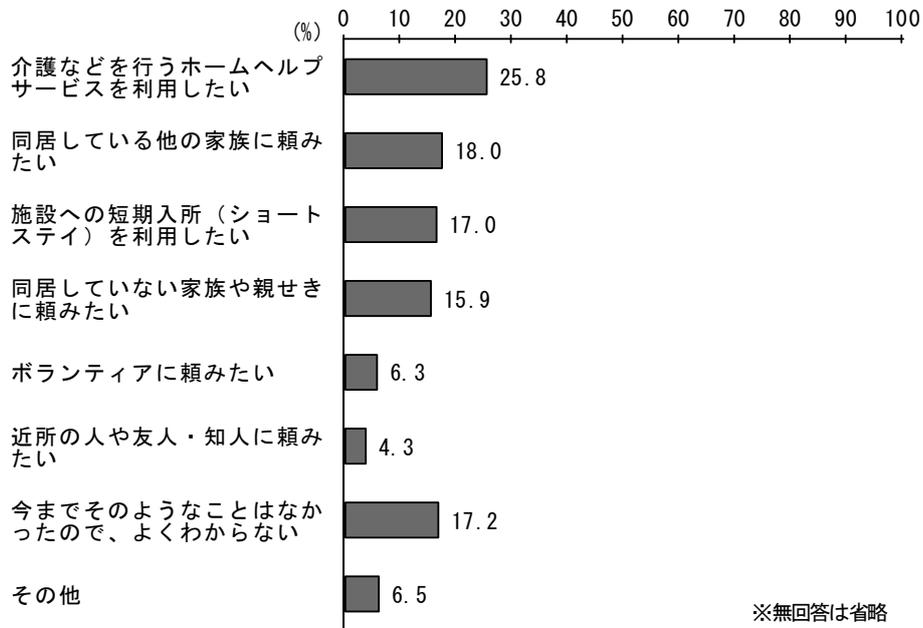
主な介助・援助者の不在時に希望する対応としては、身体障害者と精神障害者では「ホームヘルプサービスを利用したい」、知的障害者では「ショートステイを利用したい」が最も多くなっている。

身体障害者では「介護などを行うホームヘルプサービスを利用したい」と回答した人が 25.8%と最も多く、次いで「同居している他の家族に頼みたい」(18.0%)、「施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい」(17.0%)と続いている。一方、「今までそのようなことはなかったため、よくわからない」も 17.2%である。

障害の程度別でみると、程度が重くなるほど、「介護などを行うホームヘルプサービスを利用したい」が多くなっており、重度(1・2級)では 28.6%となっている。

介助・援助者が不在のときに希望する対応（複数回答）

【身体障害者】 全体 n=1,242



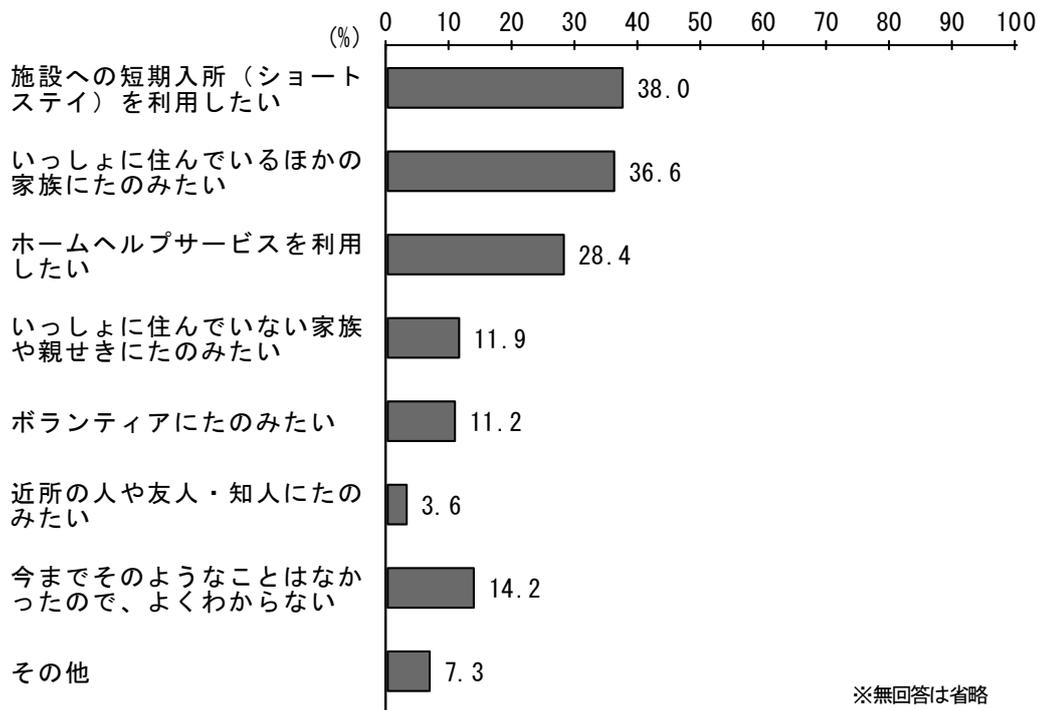
* 問6 障害の程度	n	3	1	4	2	6	5	7	8
		介護などを行うホームヘルプサービスを利用したい	同居している他の家族に頼みたい	施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい	同居していない家族や親せきに頼みたい	ボランティアに頼みたい	近所の人や友人・知人に頼みたい	今までそのようなことはなかったため、よくわからない	その他
0 全体	1,242	25.8	18.0	17.0	15.9	6.3	4.3	17.2	6.5
1 重度(1・2級)	781	28.6	20.6	20.5	16.1	5.8	3.7	17.2	6.0
2 中度(3・4級)	365	22.7	13.4	11.0	17.3	7.4	5.2	17.8	6.3
3 軽度(5・6級)	72	13.9	15.3	9.7	8.3	6.9	5.6	15.3	8.3

知的障害者では、「施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい」と回答した人が 38.0%と最も多く、次いで「いっしょに住んでいるほかの家族にたのみたい」(36.6%)、「ホームヘルプサービスを利用したい」(28.4%)と回答している。

障害の程度別にみると、最重度・重度(1・2度)では特に「施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい」が多く、57.8%となっている。

介助・援助者が不在のときに希望する対応(複数回答)

【知的障害者】全体 n=303



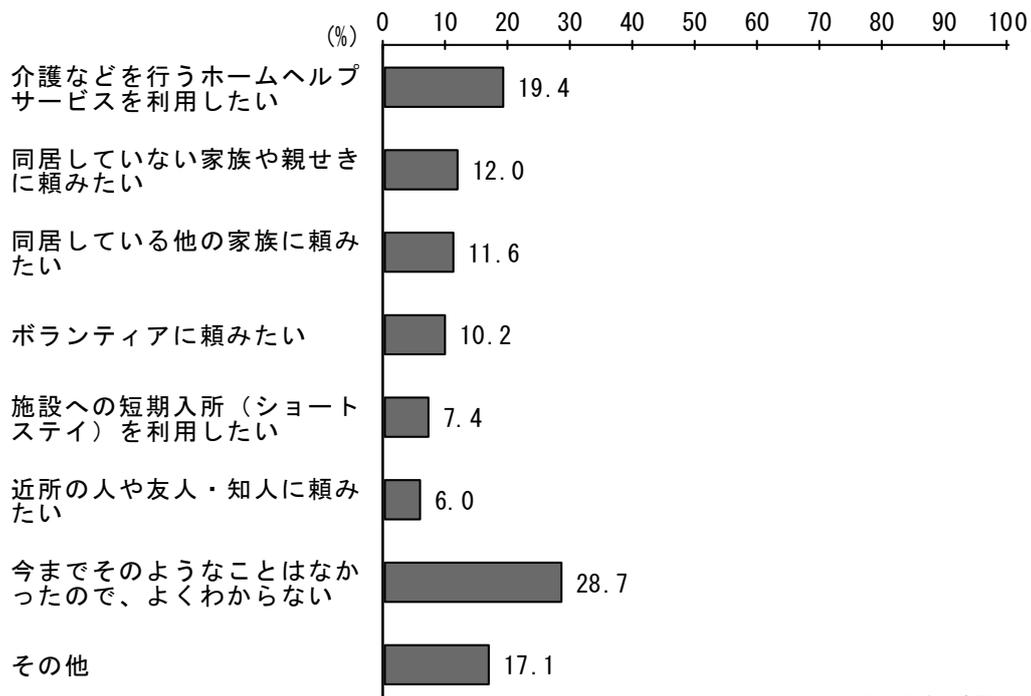
* 問6 障害の程度	n	4	1	3	2	6	5	7	8
		施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい	いっしょに住んでいるほかの家族にたのみたい	ホームヘルプサービスを利用したい	いっしょに住んでいない家族や親せきにたのみたい	ボランティアにたのみたい	近所の人や友人・知人にたのみたい	たの、よくわからない	今までそのようなことはなかった
0 全体	303	38.0	36.6	28.4	11.9	11.2	3.6	14.2	7.3
1 最重度・重度(1・2度)	128	57.8	38.3	33.6	10.2	9.4	1.6	8.6	9.4
2 中度(3度)	71	29.6	32.4	33.8	18.3	16.9	5.6	15.5	2.8
3 軽度(4度)	97	18.6	38.1	18.6	10.3	10.3	4.1	19.6	8.2

精神障害者では、28.7%の人が「今までそのようになったことがないので、よくわからない」と回答しているが、19.4%は「介護などを行うホームヘルプサービスを利用したい」、12.0%は「同居していない家族や親せきに頼みたい」、11.6%は「同居している他の家族に頼みたい」と回答している。

障害の程度別にみると、2級、3級では、3割以上が「今までそのようなことはなかったので、よくわからない」と回答している。

介助・援助者が不在のときに希望する対応(複数回答)

【精神障害者】全体 n=216



※無回答は省略

		3	2	1	6	4	5	7	8	
		介護などを行うホームヘルプサービスを利用したい	同居していない家族や親せきに頼みたい	同居している他の家族に頼みたい	ボランティアに頼みたい	施設への短期入所(ショートステイ)を利用したい	近所の人や友人・知人に頼みたい	今までそのようなことはなかったので、よくわからない	その他	
* 問6	障害の程度	n								
0	全体	216	19.4	12.0	11.6	10.2	7.4	6.0	28.7	17.1
1	1級	29	27.6	6.9	13.8	17.2	13.8	0.0	10.3	20.7
2	2級	120	20.0	13.3	11.7	10.0	5.8	7.5	30.8	14.2
3	3級	60	15.0	13.3	10.0	8.3	6.7	6.7	35.0	16.7

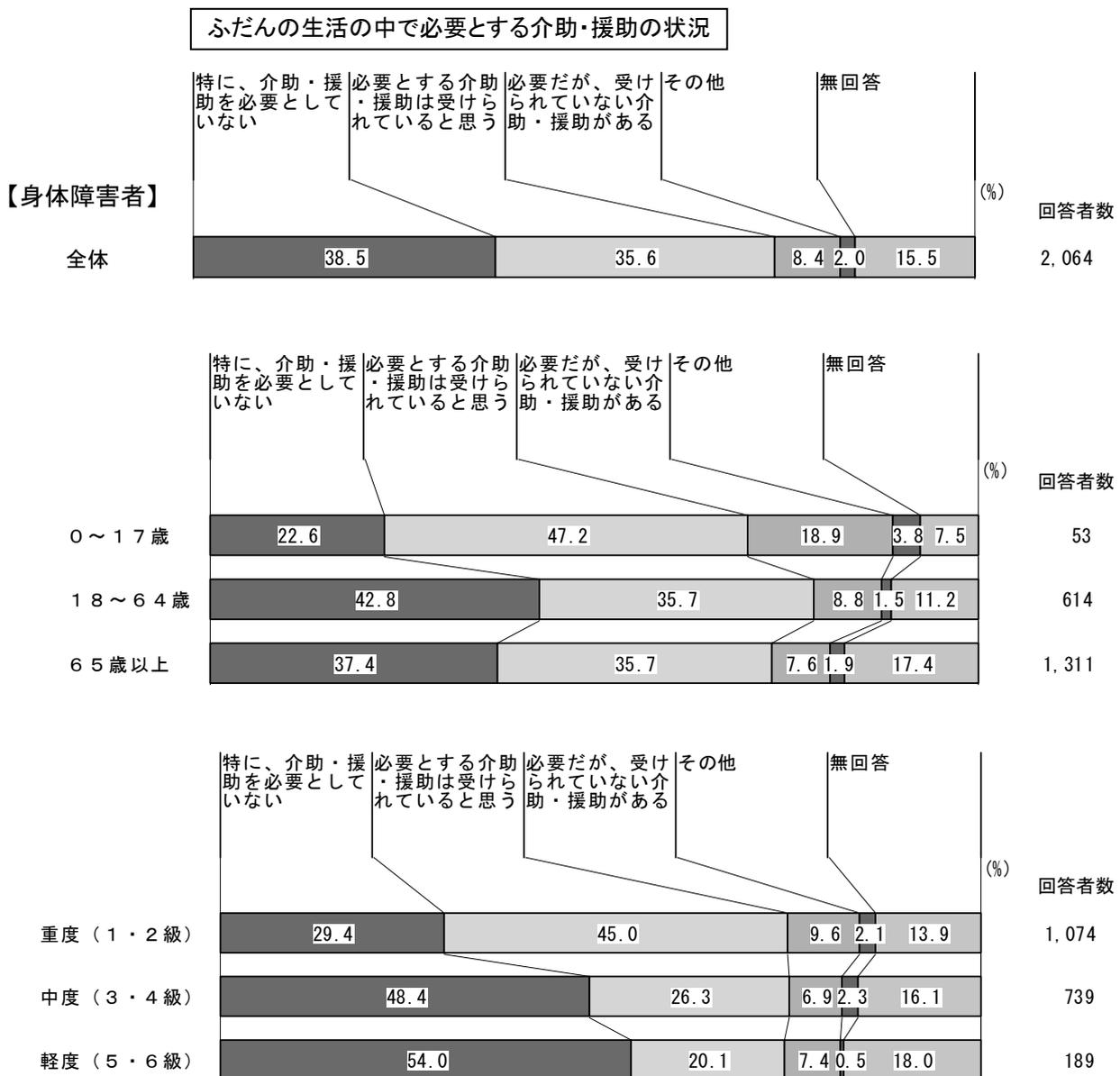
#### (4) 必要とする手助け（介助・援助）を受けられているか

ふだんの生活の中で「必要とする手助け（介助・援助）は受けられている」と考えている人は、身体障害者で 35.6%、知的障害者で 50.0%、精神障害者で 44.7%となっている。

身体障害者では、ふだんの生活の中で、必要とする介助・援助を受けられていると思うかについて、「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合は、8.4%である。

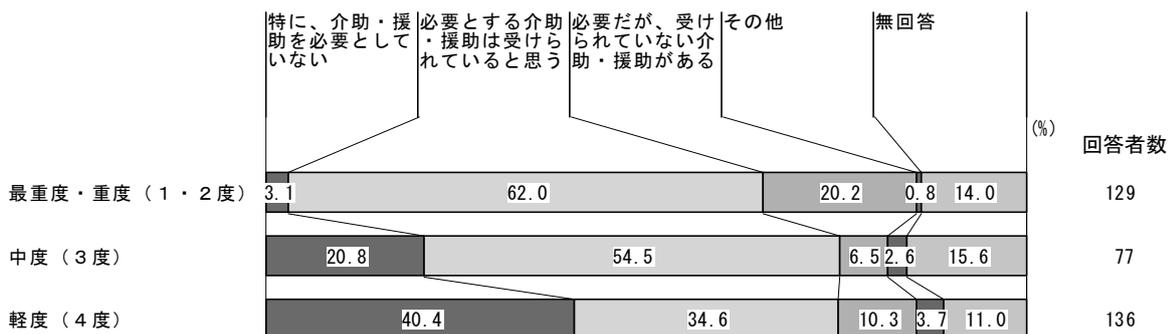
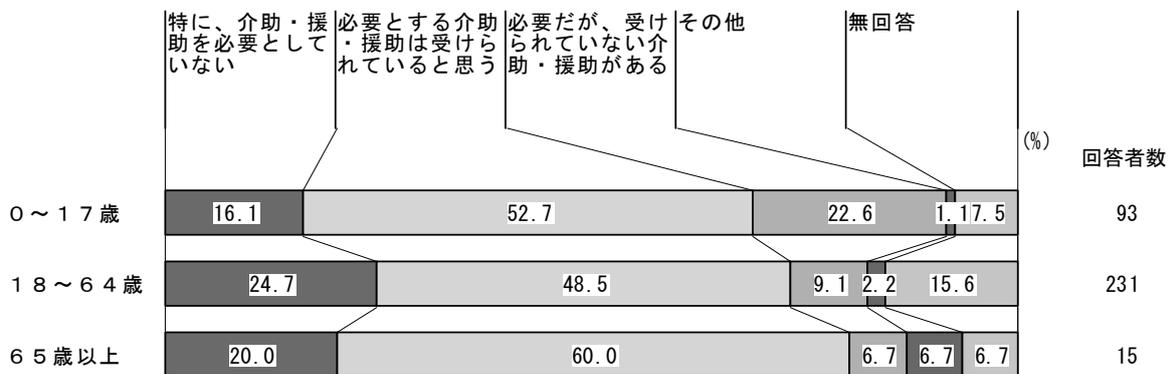
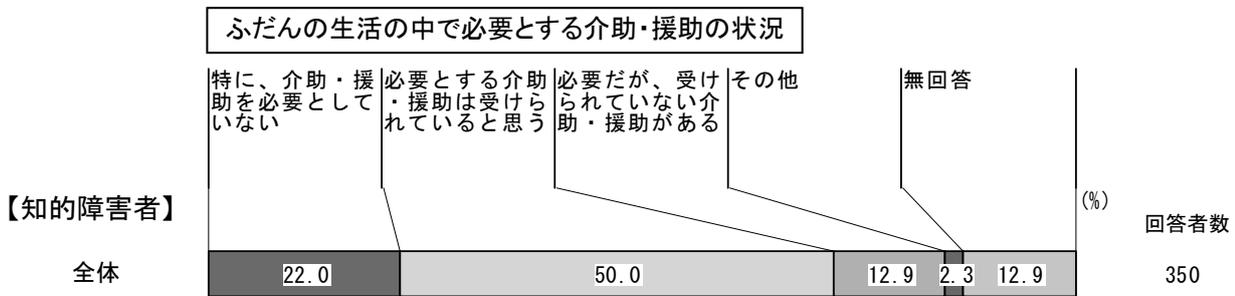
年齢区分別でみると、「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合は、0～17歳では 18.9%と他の年齢区分より多い。

障害の程度別でみると、「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合にはそれほど差は見られない。



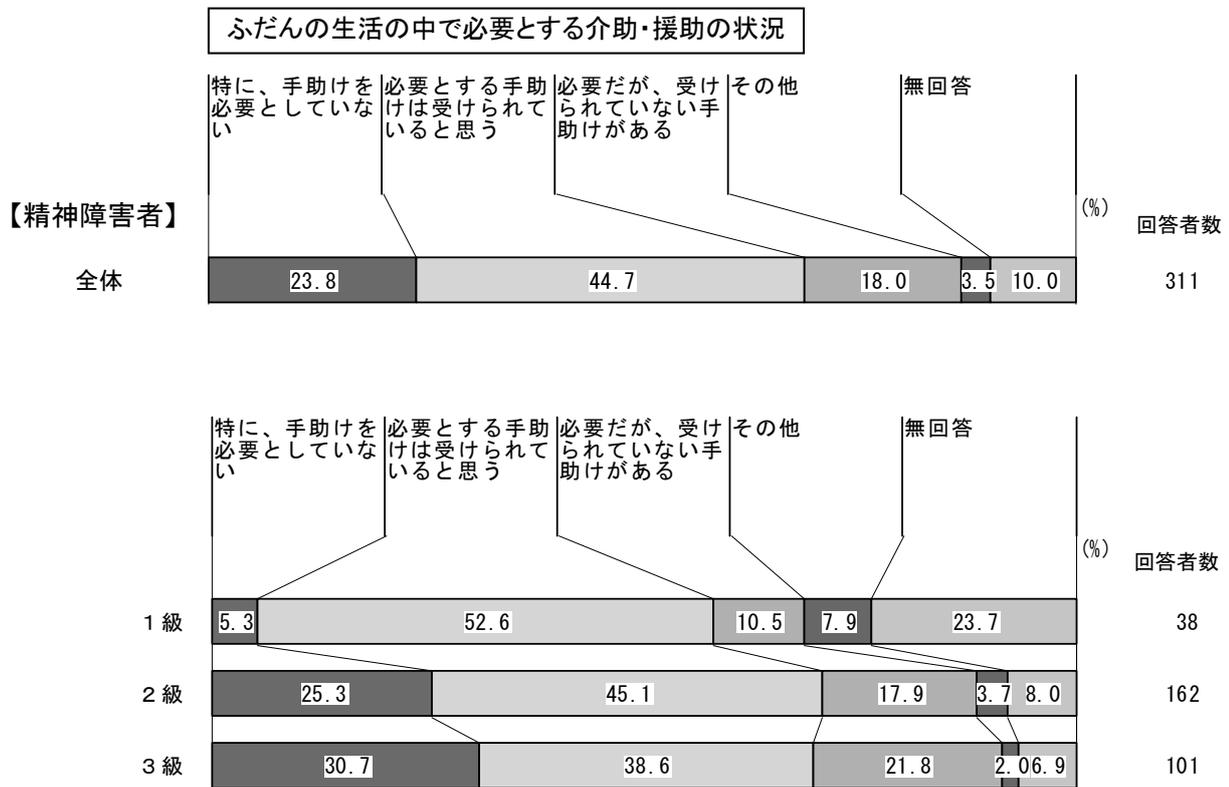
知的障害者では「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合は 12.9%となっている。年齢区別でみると、「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合は、0～17 歳では 22.6%と他の年齢区分より多い。

障害の程度別でみると、最重度・重度(1・2度)では「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合が多くなっている。



精神障害者では「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合は 18.0%である。

障害の程度別でみると、程度が軽いほど、「必要だが、受けられていない介護・援助がある」と回答した割合は多くなっている。



## (5) 必要だが受けられていない介助・援助の内容（自由回答）

主な意見は、次のとおりである。

### 【身体障害者】

- ・家族が同居なので、家の掃除が頼めないこと。
- ・家族が病気などの緊急な場合に対応するサービス。

### 【知的障害者】

- ・ヘルパーの人手不足・支給量不足のため、移動支援を十分利用できない。
- ・家族が病気などの緊急な場合に対応するサービス。
- ・人の言葉を理解したり、書類等を読む介助・援助。

### 【精神障害者】

- ・家族が病気などの緊急な場合に対応するサービス。
- ・看護師など専門職による外出支援。
- ・症状が不安定なときの生活全般の支援。